

勝山報

1月1日 No. 78

昭和二十五年七月二十七日第三版発刊
 毎月二十一日 (一回発行)
 編集 勝山市報 第七十八号
 昭和二十六年一月一日発行

お年玉
 あなたに
 この写真を
 送ります

一月一日
 午前一時ご

ろお神明さん
 へ初詣のスナッ
 プです。 さてこ
 の写真に、あなた
 が、うつっていた
 らその部分を赤で
 かこみ市役所総務
 課市報係へ一月二
 十日までに、ご
 じさんくださ
 いおまち
 たしてい
 ます。

本号は2ページ



幸ちあれかし
 初もうで

カツヤマシミンノミナサマ
 ツツシンデ シンネンヲ
 オイワイ モウシアゲ マス
 カツヤマシホウ



新年のごあいさつ

市民の皆様明けましておめでと
うございます。

ご一家お揃いで希望に満ちた新
春をお迎えのことと存じご同慶に
存じます。昨年中は大した災害も
無く又皆様のご協力により市政を
行う上にも大過なく越年でござい
ましたことを心から感謝致します。

本年も旧年に倍し市の発展のため
に特段のご支援くださるよう市報
を通じてお願い申し上げます。

顧みますと昨年は国会において
新安保の批准、国民年金、所得倍
増計画など重要問題の論議に次い
で総選挙が行われ第二次池田内閣
の再現をみました。ときあたかも
米のドル防衛政策問題に關連し
て日本の経済界に波紋を投じてい
るようであります。然しながら嚴

明けましておめでとうございま
す。

年頭にさいし国家の隆盛を祈念
いたし、併せて市民各位のご健康
を心から祝福申し上げます。

昨年、九月非力ながら議長に就
任いたしましたさいに私は本紙で
一市議會を通じて明るい市の発展
に努力させていただきたいとお
誓い致しました。併し、市民各位
の御期待にたいし充分にそい得な
かったことを洵に遺憾に存じてお
ります。

家は史上空前の米の豊作に恵まれ
際、工業界もまた好調の波にのり
戦後最高の伸びを示すなど明るい
話題が新聞紙上に賑わいを呈した
ものの突然のドル防衛ニュースで
国民の最大関心を巻きおこしまし

うるおいある

市民生活の建設に

勝山市長 山内 継 喜

が今後の方向に、さしたる打撃
もなく明るいな年になりますよう念
願いたして居ります。

こういった背景のもとに昭和三
十六年を迎えました。勝山市政
の進路は山積みされた諸問題と真
剣にとりくんで国策と対応し、真

に地についた市政を市議會と緊密
なつながりによって堅実に、積極
的に遂行していきたいと考えてお
ります。田園都市の特色である安
定性という観点から脱皮し進歩性に
切りかえていく方針をとりたいた

思います。昨年の市の同勢調査で
は人口が若干減になりましたが人
口が表面的に減ったからといって
市の後退性を即断する表現は当を
得ず、要はその実質にあると思
います。今後の市民生活の上にとれ
だけプラスするかがその発展をみ

市議會は市民の意志を代表いた
しその意志を決定付ける最後の機
関であり、市の輿論の代表であり
ます。私共はこういう立場におい

市の発展のために

努力と研究を重ねたい

勝山市議會議長 平井 彦 五 郎

昨年中は茲に、一例をあげます
ならば、目下建設途上にあります
水道建設事業はその施設において
非常に大規模であり、極めて利害

たのであります。この給水が皆極
の台所え一日も早くいき渡ること
を念願いたしております。

その他、五つの委員会はそれぞ
れに於いて、更に努力と研究を重ね
勝山市のよりよき発展をしてゆく
よう祈念いたして年頭の祝辞に代
える次第であります。

△写真◎◎は平井議長

る一つの大きな基礎ではないかと
考えます。

最後に当市を訪れる著名人から口
を揃えて「勝山市は風光明媚です
ね」と称讃していただけるのであ
りますが、自然に恵まれた環境に
ある当市は、この好条件を活かし観
光事業にも思いをこめて努力いた
したいと考えています。

とに角、うるおいある市民生活
の建設に一路邁進すべく奮闘いた
したいと存じますので市民各位も
「住みよい明るい市づくり」をス
ローガンに一層のご協力をいただ
きますよう重ねてお願いいたします
末筆ながら皆様のご健康をお祈り
して新年の門出のご挨拶といたし
ます。

△写真◎◎は山内市長

この部門を担当いたしております
が、帰するところは市民に直接関
係することはかりであり、結局は
市民の福祉を唯一の目的といたし
ております。